

道本部労災職業病部会が労働局交渉 予防・認定・社会復帰など求める

道本部労災職業病部会は8月23日に北海道労働局との交渉をおこないました。新型コロナ対策のため建交労側の出席者は森国委員長、深浦部会長をはじめ8人にしぼり、労働局からは労災補償課・健康課・監督課・総務課の課長など7人が対応しました。要求書への回答のあと、振動障害の防止対策、じん肺・アスベストの予防対策、認定業務、振動障害の「適正給付管理」、社会復帰対策、労働行政の体制強化などについてやりとしました。

振動障害の防止対策では「3軸合成」振動レベル測定器を局と各監督署に配備することを強く求めました。トンネル工事での監督・指導では、工事件数（今年3月時点で40件）とともに監督実施件数（令和2年度で37件）を明らかにしましたが、違反件数などは「公表しない」との回答を繰り返しました。また、じん肺管理区分の申請数（95件）は明らかにしながら、石綿健康管理手帳の発給数は公表を拒んだため、「石綿被害の救済が社会的にも求められている。行政のとりくみとして公表するのは当然だ」と迫りました。社会復帰にとりくんでいる被災者との意見交換の場については来年度の課題とすることになりました。

札幌市から全国統一要求書への回答書

4月2日に「2021年春闘建交労全国統一要求書」を北海道知事と札幌市長あてに提出して交渉日程を調整してきましたが、新型コロナの感染拡大により実施できないまま経過しています。こうした状況のもと、7月27日に札幌市の秋元克広市長から文書による回答がありました。

文書では「雇用・失業対策の強化」「高齢者の雇用・就労機会の拡大」「防災・生活・環境保全の優先、維持・補修を重視した公共事業の発注」「公契約条例の制定など適正な賃金・労働条件の確保」「建設労働者の賃金・労働条件の改善」「季節労働者対策の強化」「じん肺・アスベスト被害の防止と補償の拡充」についてそれぞれ回答があり、新たに次の点などが加えられています。

■「建物の清掃、警備業務等については、業務に従事する労働者の適切な賃金水準の確保を図るため、令和2年10月以後に履行開始した複数年契約において、賃金水準の上昇に応じて契約代金の増額変更を可能とするスライド制度を試行導入し、増額の改定契約を行ってまいります」

■「（工事について）昨年度試行的に実施した賃金調査につきましては、報道機関に対する資料提供を通じて公表しております」

しかし、契約代金の増額変更については、単年度契約をふくめて今年の最低賃金の引き上げに対応するものかは明確ではありません。また、公表された工事の賃金調査結果概要（別紙・職種別の回答者数が示されていないという不十分なもの）では、公共工事設計労務単価に比べて平均で68%（最低は54%、最高は92%）となっています。

いの健北海道センターが総会

働く人びとのいのちと健康をまもる北海道センターは8月21日に第9回通常総会をオンライン併用で開催しました。総会では細川蒼至雄理事長のあいさつのあと1年間の活動報告と新年度の方針が提案され、医療・介護現場の実態や建設アスベスト訴訟の到達点と課題などについて4人が発言しました。役員改選では長く事務局長として奮闘されてきた佐藤誠一さんに代わって木幡秀男さん（北海道民医連）が新しい事務局長になりました。

令和2年度 札幌市労働者賃金実態調査 結果概要

1 調査の目的

公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成17年法律第18号）等の趣旨を踏まえ、公共工事に従事する労働者（労働基準法（昭和22年法律第49号）第9条で定める労働者をいう。以下同じ。）の労働環境の改善に資する入札契約制度改善の基礎資料とすることを目的に賃金実態調査を実施するもの。

2 調査対象工事

設計金額3億円以上の工事10件（土木系工種4件、営繕系工種6件）

3 調査対象事業者

調査対象工事の受注者及び「工事作業所災害防止協議会兼施工体系図」に記載されたその下請負人（公共工事設計労務単価51職種に該当する労働者）。

4 調査対象となる労働者

上記3の労働者であって、公共工事設計労務単価において区分される51職種に該当する者のうち、調査対象賃金等が支払われた者。

5 調査項目

調査対象工事の契約締結日に属する年の10月中に支払われた賃金（1月に満たない労働日数に係る賃金を含む。10月支給算定時に市発注以外の工事に従事している場合も対象。）

$$\left[\begin{array}{l} \text{支払賃金} = \text{基本給相当額} + \text{基準内手当} + \text{臨時の給与} + \text{実物給与} \\ \text{（上記の合計額を1時間当たりの賃金に換算した額）} \end{array} \right]$$

6 調査方法

対象事業者あて郵送にて調査を依頼。各事業者からメールにより調査票を回答。

7 調査結果

(1) 回答件数

- ①141社（提出96社、対象外45社、回答率65.9%）
- ②サンプル数（工事従事者数）296人

(2) 集計結果

調査平均額（時間額）1,871円（参考：設計労務単価（北海道）2,476円 75.6%）

※提出のあった25職種の加重平均

令和2年度 労働者賃金実態調査結果（職種別）

番号	職種	R2調査平均額	
		1時間当たり	1日当たり
01	特殊作業員	2,265	18,120
02	普通作業員	1,732	13,856
03	軽作業員	1,104	8,832
04	造園工	2,280	18,240
06	とび工	2,029	16,232
09	電工	2,130	17,040
10	鉄筋工	1,979	15,832
12	塗装工	2,125	17,000
13	溶接工	2,620	20,960
14	運転手（特殊）	1,941	15,528
15	運転手（一般）	1,591	12,728
22	橋りょう特殊工	2,333	18,664
25	土木一般世話役	非公開	
33	型わく工	1,914	15,312
34	大工	2,135	17,080
35	左官	1,707	13,656
36	配管工	2,364	18,912
37	はつり工	2,072	16,576
38	防水工	2,338	18,704
41	サッシ工	2,338	18,704
43	内装工	2,740	21,920
45	建具工	1,665	13,320
49	設備機械工	1,890	15,120
50	交通誘導警備員A	1,226	9,808
51	交通誘導警備員B	1,214	9,712
合計（平均）※		1,871	14,968

※ 平均額は提出のあった25職種の加重平均による。1日8時間として計算。

●令和2年度 調査平均額：1,871円（時間額 25職種）平均年齢48.3歳

札幌市の調査結果との比較

	公共工事設計 労務単価 (2020年度)	札幌市の調査 結果 (2020年 10月)	比率
特 殊 作 業 員	21,100	18,120	85.9%
普 通 作 業 員	17,300	13,856	80.1%
軽 作 業 員	14,400	8,832	61.3%
造 園 工	19,700	18,240	92.6%
と び 工	23,700	16,232	68.5%
電 工	20,900	17,040	81.5%
鉄 筋 工	24,200	15,832	65.4%
塗 装 工	24,200	17,000	70.2%
溶 接 工	26,600	20,960	78.8%
運 転 手 (特 殊)	20,700	15,528	75.0%
運 転 手 (一 般)	17,600	12,728	72.3%
橋 梁 特 殊 工	31,200	18,664	59.8%
土 木 一 般 世 話 役	21,900	非公開	
型 枠 工	23,300	15,312	65.7%
大 工	25,100	17,080	68.0%
左 官	25,100	13,656	54.4%
配 管 工	20,500	18,912	92.3%
は っ り 工	25,300	16,576	65.5%
防 水 工	26,300	18,704	71.1%
サ ッ シ 工	25,200	18,704	74.2%
内 装 工	24,500	21,920	89.5%
建 具 工	21,300	13,320	62.5%
設 備 機 械 工	22,700	15,120	66.6%
交 通 誘 導 員 A	13,900	9,808	70.6%
交 通 誘 導 員 B	11,800	9,712	82.3%
平 均	21,940	14,968	68.2%